

新緑映える季節となり、過ごしやすい日も多くなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？今月から、令和元年となり、新しい元号になりました。これからも引き続き、医学教育センターニュースを宜しくお願い致します。



新入生を対象に「手話講座」と「あいさポーター研修」を実施しました。

5月7日(火)の医学入門(1年生対象)では、宇部社会福祉協議会のコミュニケーション支援室、地域福祉課から講師にお越し頂き、今年度から新たに「手話講座」と「あいさポーター研修」を行いました。「手話講座」では、まず、聴覚障害者(ろう者)のコミュニケーション方法、手話について学びました。手話を表現するときの一般的なルールとして、

1. 手話は胸前で、大きく、はっきりと表す。
2. 手話には、口話(相手の口形や口の動きから言葉を読み取る方法)を大きく、はっきりと付ける。
3. 手話には、適当な表情をきちんと付け、心を込める。

ことが挙げられ、ただ手話だけでコミュニケーションをとるのではなく、口話(読唇)や空書(一般に、胸前の空間に文字を書き、相手に読んでもらう方法)を補完的に使い、表情豊かに手話を行うことで、意思の疎通がスムーズに図れることを学びました。説明を受けた後、実際に基本的な手話表現を講師の方から教わり、「おはようございます」、「こんにちは」、「こんばんは」、「私の名前は〇〇です。」、「有難う」といった一般的な手話表現や、「今日はどうしましたか?」、「病気」、「病院」、「医師」、「看護師」、「けが」、「検査」、「大丈夫」、「薬」、「お大事に」といった医療に関する手話表現を学びました。最後は、隣同士でペアを組んで、口話(読唇)や空書を用いた手話表現で意思の疎通を図り、皆、積極的に取り組んでいました。

今回の「手話講座」と「あいさポーター研修」が、さらに障害や障害者に対する理解を深めていくきっかけになればと思います。

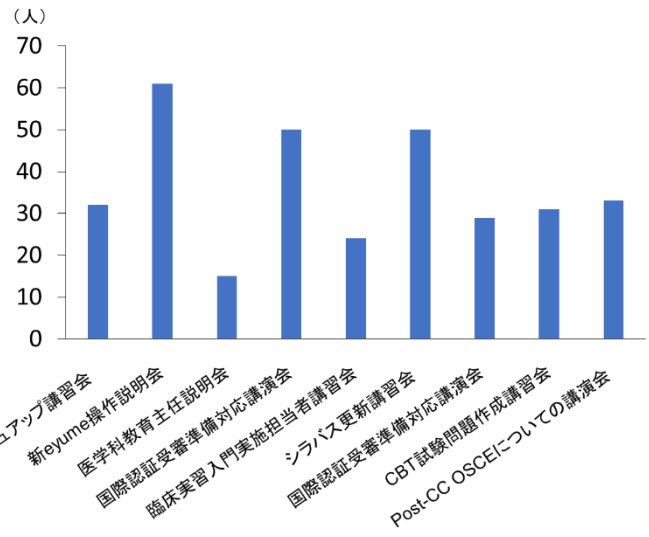


FD研修会への積極的な参加をお願いします!!

医学科主催の様々なFD研修会が開催されていますが、H30年度の参加者数は、下記の通りです。1回当たりの平均参加人数は、約36名です。H30年度に1回以上、FD研修会に参加した医学科教員は、111名でした。**1度も参加していない医学科教員の割合は、60.5% (170 / 281) と半数を超えています。**医学科主催の様々なFD研修会では、医学教育の改善に関するテーマを取り上げており、より多くの教員の方々に参加頂くことが、より良い医学教育の実現に繋がります。今年度も様々なFD研修会を企画する予定ですので、より多くの皆様のFD研修会への参加をお願い致します。



H30年度 医学部主催FD参加者人数



新入生を対象に医学部附属病院見学を実施しました。

4月23日(火)の医学入門で、内科系(計13診療科)と外科系(計11診療科)の診療科の先生方に協力して頂き、医学部附属病院見学を行いました。4~5名のグループに分かれ、各診療科や手術室を見学しました。ほとんどの学生にとって、実際の医療の現場に触れるのは初めてで、これから医学を学ぶにあたり、大変貴重な体験になったのではないかと思います。今回の病院見学に関して、レポートを作成し、それを基に基盤系各講座でグループ討論を行う予定です。

ご協力頂きました各診療科の先生方、どうも有難うございました。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp